

地獄ばやしに 熱気の輪

～第44回登別地獄まつり～

8月25日(土)・26日(日)の2日間、登別温泉街で『第44回登別地獄まつり』(市・登別観光協会主催)が開かれ、平成16年にまつり期間が2日間になって最多の延べ約4万500人(前年比1,500人増)の観客がまつりを楽しんでいました。

25日は、テープカットや登別小学校のオニッコマーチングバンド、登別中学校吹奏楽部の演奏などで開幕。観客は、太鼓演奏に聞き入ったり、足湯コーナーで温泉を楽しんだりしました。

夜には、重さ1トンの赤鬼みこしや登別厚生年金病院の女みこし、登別中学校のみこしを担いで練り歩く『鬼みこし暴れねりこみ』や地獄ばやしにのって市民と観光客が踊る『鬼踊り大群舞』などで、まつりは最高潮の盛り上がり。『エンマ大王からくり山車』が登場し、穏やかな顔が憤怒の表情に変わると詰め掛けた観客から大きな歓声が上がっていました。

26日には、郷土芸能『熊舞』が観客を魅了したほか、トウガラシがたくさん入った『地獄ラーメン早食い競争』では、参加した男女15人が口や手を震わせながらタイムを競っていました。最後は『ファイナル花火大会』が行われ、2日間のまつりは幕を閉じました。



お友だちっていいね ～移動子育て支援センター～



9月12日(水)、鶯別保育所で『移動子育て支援センター』(市主催)が開催され、親子11組が参加しました。

同センターは、子育て支援センターが設置されていない若草・鶯別地区に中央子育て支援センターの職員が出向き、親子の触れ合いの場、地域の子ども同士の触れ合う場、保護者の交流の場として定期的に開催しているもので、9月21日には若草放課後児童クラブでも開催されました。

若草町に住む方は、「今まで同じ年代の子どもと遊ばせる機会がなかったので参加しました。子どもを見ていると人見知りもせず活発に遊んでいるので良かったです」と話してくれました。

なお、これまで鶯別保育所で開催されていた同センターは、10月から鶯別公民館で開催します。

本場のお笑いを体感 ～爆笑お笑いライブ2007 in のぼりべつ～

8月26日(日)、市民会館で『爆笑お笑いライブ2007 in のぼりべつ』(文化・スポーツ振興財団主催)が開かれました。

この催しには、『ブーメラン学園』『上海ドール』『ヒライケンジ』『森三中』『まちゃまちゃ』『笑ハンティング』の6組(人)のお笑い芸人が登場。出演者は、テレビなどでおなじみの漫才を披露し、詰め掛けた観客を沸かせていました。

観客は、「いつもテレビで見ている芸人たちのお笑いを間近で見れてとてもおもしろかったです」と話してくれました。

最後に行われた抽選会では、芸人さんが当たった方に直接プレゼントを手渡していました。

